

2020年6月17日

日本ユニシス
**令和2年度バーチャルパワープラント構築実証事業で
 リソースアグリゲーターとして九州電力を幹事会社とするコンソーシアムに参画**

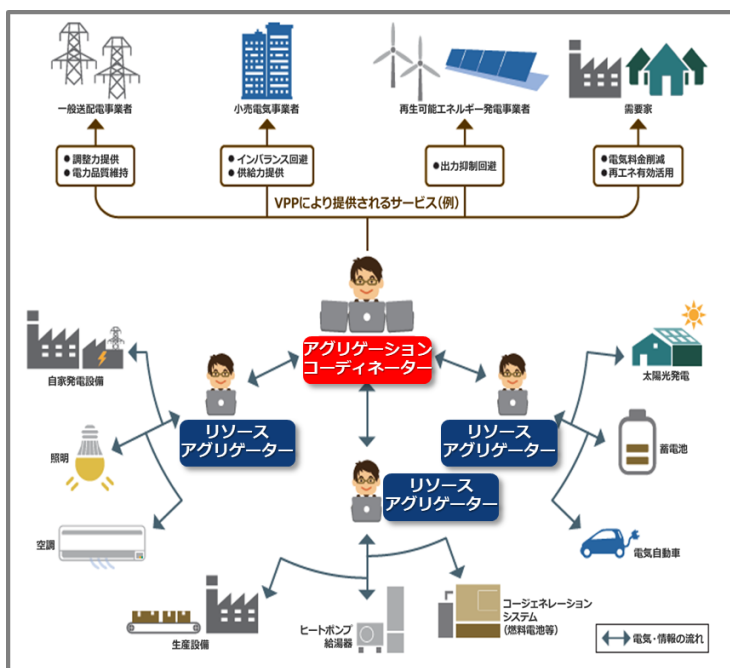
日本ユニシスは、経済産業省資源エネルギー庁の補助事業である「令和2年度需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント（以下、VPP）実証事業費補助金」に申請し、2020年5月29日に九州電力を幹事会社とするコンソーシアムにおいて「リソースアグリゲーター（以下、RA）」として採択され、家庭向けリソース制御システムの実証事業を開始しました。

【実証事業の概要】

分散エネルギーリソースのデータ収集・蓄積・予測・制御の技術の活用は、再生可能エネルギーを有効に活用する「スマートシティ構想」の実現や、持続可能な社会形成につながるものとして大きな期待を集めています。

日本ユニシスは本実証で、RA事業者としてアグリゲーションコーディネーター（以下、AC）である九州電力のACサーバーと、日本ユニシスが開発したRAサーバーとの連携を図りながら、同エリア内の戸建住宅向けにエネルギーリソースの1つである家庭用ヒートポンプ給湯機（エコキュート）のエネルギーマネジメントを行います。

■VPPイメージ図

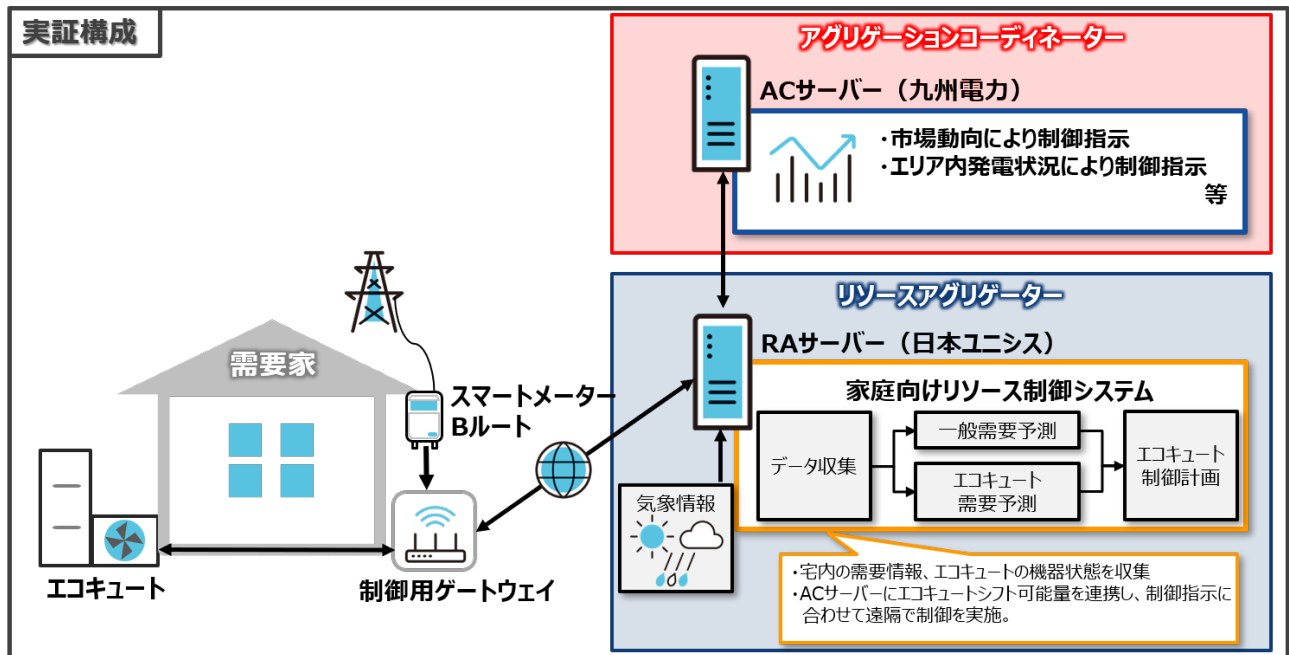


アグリゲーションコーディネーター（AC）
 リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と直接電力取引を行う事業者

リソースアグリゲーター（RA）
 需要家とVPPサービス契約を直接締結してリソース制御を行う事業者

※出典：経済産業省資源エネルギー庁 HP
 (https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/advanced_systems/vpp_dr/about.html)

■実証システムのイメージ図



【今後の取り組み】

日本ユニシスは、エネルギー事業者向けの ICT システム構築事業や非 FIT 非化石電源認定事業でこれまで培ってきた知見を生かし、本実証を通じて人と環境を中心としたエネルギーサービス事業者として事業参入を目指します。

また、これらの活動を通し、省エネルギーや再生可能エネルギー利用を積極的に推進し、化石由来のエネルギーに依存しない 持続可能な脱炭素社会の実現に貢献していきます。

以上

※九州電力株式会社

設立：1951年5月

資本金：2,373 億円

代表者：代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘 氏

所在地：福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

事業内容：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業 等

※関連 URL：

- ・令和2年度 バーチャルパワープラント構築実証事業
<https://sii.or.jp/vpp02/>
- ・2020年度 バーチャルパワープラント構築実証事業の開始について (九州電力)
http://www.kyuden.co.jp/notice_200601.html
- ・エネルギー管理サービス「Enability EMS」家庭向けリソース制御サービス
<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/energy/ems/energyself.html>
- ・非 FIT 非化石電源に係る認定業務の実務を開始
https://www.unisys.co.jp/news/nr_190613_non-fossilfuel.pdf

※Enability は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/